

## 次号予告

### 特集 交通とOR

高速道路と地域社会……………佐野治久(日本道路公団)

首都圏における物流対策の展解  
……………矢野裕児(日通総研)

列車OD輸送量把握システムの設計  
……………関 隆司(J R 東日本)

航空会社におけるダイヤデータシステムの活用  
……………井上哲次(日本航空)

〈座談会〉 トラフィックのOR活動  
……………司会 森村英典(筑波大学)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	高森 寛	青山学院大学
副委員長	高井 英造	三菱石油㈱
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	上野 哲郎	関東学園大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	川野幸三郎	日本ユニカー㈱
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢部 博	東京理科大学

**編集後記** ●今回の特集号は「対話型OR研究部会」の全面的なご協力によってできあがったものです。権藤先生を中心として長いあいだ熱心に続けてこられた成果の一端で、実務家の方々には特に興味のあるものと思います。これらを読ませていただいて改めて感じるのはORとは「実」と「学」との対話によって成立しているということです。「対話」というものは、異なった世界の結合によって、新しい共通の評価体系を見つけ出すための手段であると幅広く考えると、ORの周辺には実にさまざまな対話が存在しているということがわかります。(実と学)(コンピュータと人間)(モデルとデータ)(異なった分野の人間)(異なった目的の組織)等等。このような「対話」を効率よく効果的に実現するために、どのようなシステムを機械や組織に組み込んでいくかについての研究をさらに進めてゆきたいと考えています。本誌も会員相互の対話の「広場」としての役割を認識しながら、よりよい紙面づくりに努力します ●最近の東欧諸国をめぐる激し

い動きを伝えるテレビニュースの映像の中で特に印象的だったのは、ブカレストやブラハの「広場」を埋めつくした大群衆とそのダイナミックな動きでした。「ORの広場」においても、そこに集まってくる人たちの力が、やがては組織体の活性化と再生につながっていったほしいものだと思います。それを実現する鍵はおそらく「対話」の中にあるのでしょうか ●話は変わりますが、最近の傾向として1編の原稿が予定より長くなるものが多く、また特集原稿の数も多めになりがちがあります。その上に連載講座、研究レポート、メモランダム等についても頁数をさく必要があり、編集一同うれしい悲鳴をあげています。予算をにらみながら何とかあまり頁数オーバーにならないよう苦心しているのが実状です。そのようなわけで今回の特集に当っても企画をお願いした権藤先生にご迷惑をおかけしてしまい申し訳なく感じております。学会を支えている会員の皆様のこのような熱意に応えるよう今後も努力するつもりです。(高井英造)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成2年8月号 第35巻 第8号 通巻356号

代表者 岡 久雄

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発行所 株式会社 日科技連出版社  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご文注は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円,郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ